



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 1 平成 28 年度県土整備部の体制について
- 4 一般国道 4 号「盛岡北道路」開通
- 6 冬期通行止め区間の除雪が進んでいます
- 8 JAL花巻ー福岡線 搭乗者10万人を達成
- 9 いわて花巻空港旅客ターミナルビル増改築工事が完了し、供用を開始
- 10 中華航空孫会長、台湾旅行社代表御一行が来県
- 11 高田松原津波復興祈念公園基本設計策定に向けた検討が進んでいます
- 13 東北「道の駅」スタンプラリー2016 開催のお知らせ
- 14 「EE東北'16」開催のお知らせ

2016年

4月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 141 号
平成 28 年 4 月 28 日発行
編集 県土整備企画室



2016
希望郷

第16回全国障害者スポーツ大会

いわて大会

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

4月14日以降発生した熊本地震につきましては、犠牲となった方の御冥福をお祈りするとともに、未だ不安な生活をされている住民の方々、日夜、復旧に向け対応されているの方々へお見舞いを申し上げます。

岩手県では、「岩手県応援本部」を設置し、現地ニーズに応じた支援を行っており、県土整備部からは、被災した住宅の調査、応急仮設住宅整備などを支援するため、職員が現地に赴き対応に当たっています。

熊本地震に対する本県の対応状況については、ウェブサイト「いわて防災情報ポータル」にて公開しています。

<https://iwate.secure.force.com>（「対応状況」の項目）



4月22日に県土整備部から第1陣6名が出発

平成 28 年度 県土整備部の体制について

震災から5年。県土整備部は、「復興」と「ふるさと振興」を推進し、希望郷いわてを実現するため、社会資本の整備等に取り組んで参ります。

4月1日から、及川隆県土整備部長が就任し、全国から派遣いただいた77名の応援職員と、新たに採用された62名の職員を加え、総勢855名の体制でスタートしたところです。

今年度の幹部職員、応援職員の受入状況について次ページからご紹介いたします。



県土整備部長室にて。

（左から、

八重樫弘明 河川港湾担当技監
中野穰治 技監（道路都市担当）
及川隆 県土整備部長
平野直 副部長）

県土整備部 幹部職員をご紹介します

県土整備部長 及川 隆 (おいかわ たかし)

出身地	奥州市前沢区	休日の過ごし方	妻と買い物などに出かけること
趣味	今はあまりしなくなったテニスとスキー、あまり聞かなくなった ZARD	座右の銘	君子慎独
取り組んだこと・苦労したこと	不要論のあったダム事業の必要性や効果を説明するための資料を、本庁・事務所一体となって作成し、事業を推進してきたこと		
メッセージ	<p>東日本大震災津波から6年目を迎えた今もなお、多くの方々が応急仮設住宅等で不自由な暮らしをされており、一日も早い復興を成し遂げるとの「強い思い」を持って、安心して暮らせる安全なまちづくり、住まいづくりに取り組みましょう。</p> <p>産業や観光といったふるさと振興を支える社会基盤の整備など、未来に繋がる仕事を担うという「高い志」を持って取り組みましょう。</p> <p>復興とふるさと振興による希望郷いわての実現に向けて、職員一丸となり「信頼と優しさ」を持って取り組んでいきましょう。</p>		

技監（道路都市担当） 中野 穰治 (なかの じょうじ)

出身地	福岡県	得意なこと	粘り強く諦めないこと
趣味	釣り、ゴルフ	苦手なこと	嘘をつくこと（方便）
休日の過ごし方	趣味を楽しみたいが、単身赴任の週末は意外と忙しい(^_^);	愛読書	東野圭吾
座右の銘	「一隅を照らす」 最近いいなと感じた言葉：「走った距離は自分を裏切らない」	取り組んだこと・苦労したこと	宮崎県庁時代の東九州道の用地対策。代執行に至る直前で任意立ち退きをいただき、結果として供用目標を遵守できたこと。
メッセージ	<p>復興、創生を支えるインフラ整備に少しでもお役に立てるように頑張りたい。</p> <p>計画どおりに事業を進めることは大切なミッションであるが、そのことだけに囚われないようにしたい。インフラの計画は地域の意思である。どういう地域にしたいのか、次の世代にどういう暮らしをしてもらいたいのか、何のためのインフラなのか、当たり前の原点を常に忘れないように意識していきたいです。</p>		

副部長 平野 直 (ひらの なおし)

出身地	北上市	得意なこと	動くこと
趣味	近隣市町村探訪（イベント、温泉、食事）、自転車、ランニング	苦手なこと	待つこと、じっとしていること
休日の過ごし方	同上	愛読書	ノンフィクション、サイエンス、歴史
座右の銘	Now or Never	取り組んだこと・苦労したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ IGRいわて銀河鉄道の設立・運営に携わり、貨物線路使用料の交渉を成功に導き、黒字経営に転換させたこと ・ 田野畑村助役時代の悪戦苦闘
メッセージ	<p>県土整備部のパフォーマンスが最大限発揮されるよう後方支援します。</p> <p>① 職員一人ひとりが働きやすく、力が発揮できる職場環境の整備</p> <p>② 各室課・センターの取組が効率的かつ円滑に進むよう庁内各部局及び関係機関との連絡調整</p> <p>③ 県土整備部の取組・成果が適正に評価され、県民に知られ喜ばれるよう周知、広報</p> <p>個人的には、今年度、スポーツ系の大会に3回以上出場することを目指します。</p>		

河川港湾担当技監 八重樫 弘明 (やえがし ひろあき)

出身地	岩手町（沼宮内）	得意なこと	乾杯のビール銘柄当て
趣味	食べ飲みなど	苦手なこと	短い挨拶（いつも及川部長からは「短く、短く」と御教示あり）
休日の過ごし方	朝散歩やゴルフ打ちっぱなし、実家の草取り	愛読書	ジョジョの奇妙な冒険、風の大地（いずれも漫画でした）
座右の銘	努（つと）むるは好むに如（し）かず、好むは楽しむに如かず	取り組んだこと・苦労したこと	<p>平成4年度：木賊川遊水地事業の全体計画認可</p> <p>平成5年度：南川都市小河川改修事業の全体計画認可</p> <p>平成7年度：河川情報システム整備の県単予算確保</p>
メッセージ	<p>座右の銘は、「どうせやるなら好きになってしまえば良い、それよりも、楽しんでやればもっと良い」という意味です。</p> <p>震災からの復旧・復興は、だれも経験したことのない大事業。そして、社会基盤整備や維持管理、自然災害対策など、どれも県民生活に直結する大事な仕事。なにかと辛い局面もやってくると思いますが、みんなであつち楽しんでやれば良いなあと思っています。よろしくお願いします。</p>		

他県等派遣応援職員と共に復興に取り組みます

平成 28 年 4 月、全国 18 都府県市及び民間企業から 77 名の力強い応援職員が県土整備部に加わりました。

県土整備部の激励式には、本庁に勤務いただく応援職員が出席し、及川県土整備部長の激励の言葉の後、応援職員を代表して、都市計画課に配属される須藤主査（東京都から派遣）が本格復興完遂への決意を述べました。

応援職員の派遣元は、北は青森県、南は福岡県と全国から集まっていただき、特に大阪府及び長野県からは 10 名を超える応援をいただいています。

応援職員は、本庁では、土地区画整理事業や防災集団移転促進事業などの面整備を主に担当する都市計画課や災害公営住宅などの整備を担当する建築住宅課に配属されます。

広域振興局土木部等では、津波による被害が特に大きかった沿岸南部を中心に配属され、防災のまちづくりを進めるための災害復旧業務や用地取得業務などを担当されます。

激励式の様子(4月1日 本庁会議室にて)



応援職員内訳 (派遣元団体別)

派遣元団体名	人数
大阪府	20
長野県	11
静岡県	9
東京都	9
神奈川県	5
福岡県	4
埼玉県	3
青森県	2
栃木県	2
山梨県	2
高知県	2
和歌山県	1
愛知県	1
新潟県	1
島根県	1
山口県	1
川崎市	1
大阪市	1
民間企業	1
計	77

応援職員内訳 (配属先別)

	所属名	人数
本庁	都市計画課	6
	建築住宅課	13
	小計	19
出先	北上川流域下水道事務所	1
	沿岸広域振興局土木部	14
	宮古土木センター	17
	岩泉土木センター	1
	大船渡土木センター	21
	県北広域振興局土木部	4
	小計	58
	合計	77



県土整備部 職種別職員数

職種	人数
土木職	473
建築職	72
その他技術職	39
事務職	240
運転技士	31
計	855